

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成24年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<周辺環境>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果				年平均	頻度	(参考) 環境基準値等
				5月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m3	0.00000020	0.000000094	0.00000013	0.00000019	0.00000015	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m3	0.070	0.022	0.042	0.043	0.044		0.6以下
		ベンゼン	mg/m3	0.0089	0.0024	0.0018	0.0022	0.0038		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満	1年に2回 (自主的に4回)	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.066	0.068	0.11	0.067	0.078		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)	/	1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	/	/	/	0.063	/		1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)	/	1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	/	/	/	0.029	/		1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg	/	/	/	0.05未満 ^(注3)	1年に1回	—
			(溶出)	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)		—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	/	/	/	3.2	/		150以下
生物 ^(注4)	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet	/	/	/	11,000	/	1年に1回	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet	/	/	/	0.48	/		—

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:検出限界値は0.0005mg/L)

(注3:検出限界値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はカメノテ)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成24年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果				頻度	管理目標値
					5月	8月	11月	2月		
排気 (1期)	洗浄排気1	1G1	PCB	mg/m ³ N	0.00036	0.00077	0.000050	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	/	0.024	/	0.000072	1年に2回	0.1以下
	洗浄排気2	1G2	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	/	0.0000041	/	0.000018	1年に2回	0.1以下
	液処理系排気1	1G4	PCB	mg/m ³ N	0.000027	0.000023	0.00001未満 ^(注6)	0.000015	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	/	0.0037	/	0.0025	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N	/	1未満 ^(注7)	/	1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気2	1G5	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.000013	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	/	0.00095	/	0.0000028	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N	/	1未満 ^(注7)	/	1未満 ^(注7)		50以下
	換気	1G6	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00021	0.000026	0.00043	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	/	0.00085	/	0.013	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N	/	1未満 ^(注7)	/	1未満 ^(注7)		50以下
	分析室排気	1G7	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m ³ N	/	0.00015	/	0.0000020	1年に2回	0.1以下	

(注5:調査地点は添付2及び3-1に示す)

(注6:検出限界値は0.00001mg/m³N)

(注7:検出限界値は1mg/m³N)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成24年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社
北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果					頻度	管理目標値
					4月	7月	10月	12月	1月		
排気 (2期)	特殊解体排気	2G1	PCB	mg/m ³ N	0.000059	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000049			0.0000087	1年に2回	0.1以下
	中間処理排気	2G2	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000055			0.000027	1年に2回	0.1以下
	真空加熱分離系排気	2G3	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000030			0.0000022	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)			1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気1	2G4	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.000015	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000038			0.000013	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)			1		50以下
	液処理系排気2	2G5	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000087			0.0000025	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		2.0			1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気3	2G6	PCB	mg/m ³ N	運転無し	運転無し	運転無し		運転無し	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	運転無し	運転無し	運転無し		運転無し	1年に2回	0.1以下
	プラズマ排気1	2G7-1	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0 ^(注8)			0.0000050	1年に2回	0.1以下
			硫黄酸化物	K値		0.0044未満 ^(注9)			0.0044未満 ^(注9)	1年に2回	K値=1以下 ^(注13)
窒素酸化物			ppm		32			84	1年に2回	230以下 ^(注13)	
塩化水素			ppm		1未満 ^(注10)			1未満 ^(注10)	1年に2回	250以下 ^(注13)	
プラズマ排気2	2G7-2	ばいじん	g/m ³ N		0.001未満 ^(注11)			0.001未満 ^(注11)	1年に2回	0.05以下 ^(注13)	
		PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注7)		1年に4回 ^(注12)	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0 ^(注8)			0.00000045	1年に2回	0.1以下	
		硫黄酸化物	K値		0.0044未満 ^(注9)			0.0044未満 ^(注9)	1年に2回	K値=1以下 ^(注13)	
		窒素酸化物	ppm		31			30	1年に2回	230以下 ^(注13)	
換気	2G8	塩化水素	ppm		1未満 ^(注10)			1未満 ^(注10)	1年に2回	250以下 ^(注13)	
		ばいじん	g/m ³ N		0.001未満 ^(注11)			0.001未満 ^(注11)	1年に2回	0.05以下 ^(注13)	
		PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下	
分析室排気	2G9	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000015			0.0000027	1年に2回	0.1以下	
		PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)		0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下	
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0 ^(注8)		0.0000024	1年に2回	0.1以下	

<プラズマ排気2の追加分(5回)>

調査地点 ^(注5)	調査項目	単位	測定結果				管理目標値	
			5月	6月	9月	3月		
プラズマ排気2	2G7-2	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.01以下

(注5: 調査地点は添付2及び3-2に示す)

(注6: 検出限界値は0.00001mg/m³N)

(注7: 検出限界値は1mg/m³N)

(注8: ダイオキシン類の測定結果「0」は毒性当量の算出結果がゼロになることを示す

(注9: 検出下限値はK値=0.0044

(注10: 検出下限値は1ppm

(注11: 検出下限値は0.001g/Nm³

(注12: プラズマ排気2のPCBは操業開始後半年間は月1回、

その後、半年間は2ヶ月に1回測定(平成24年1月より稼働)

(注13: 1時間平均値

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成24年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果		頻度	管理目標値
				8月(雨水は7月)	2月(悪臭は1月)		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注14)	0.0005未満 ^(注14)	1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注14)		1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.45			10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm		0.005未満 ^(注15)	1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm		1未満 ^(注16)		10以下
		キシレン	ppm		0.1未満 ^(注17)		1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm		0.005未満 ^(注15)		0.05以下
		トルエン	ppm		1未満 ^(注16)		10以下
		キシレン	ppm		0.1未満 ^(注17)		1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)		51(53)	1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)				62(62)		
	(東)				54(57)		
	(西)				62(62)		

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注14:検出限界値は0.0005mg/L)

(注15:検出限界値は0.005ppm)

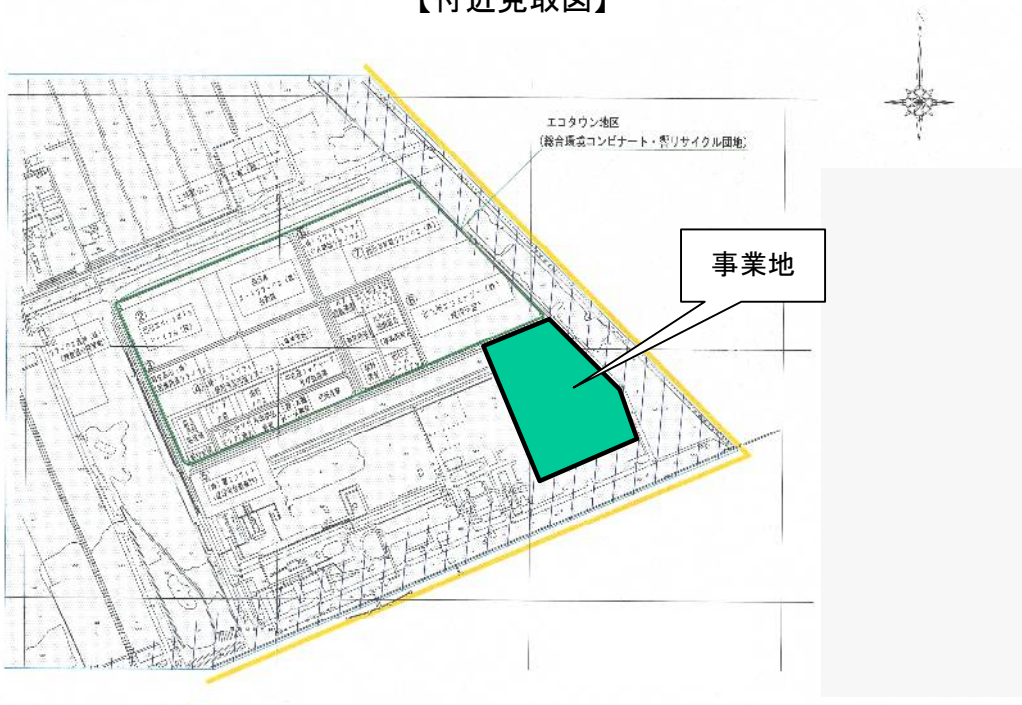
(注16:検出限界値は1ppm)

(注17:検出限界値は0.1ppm)

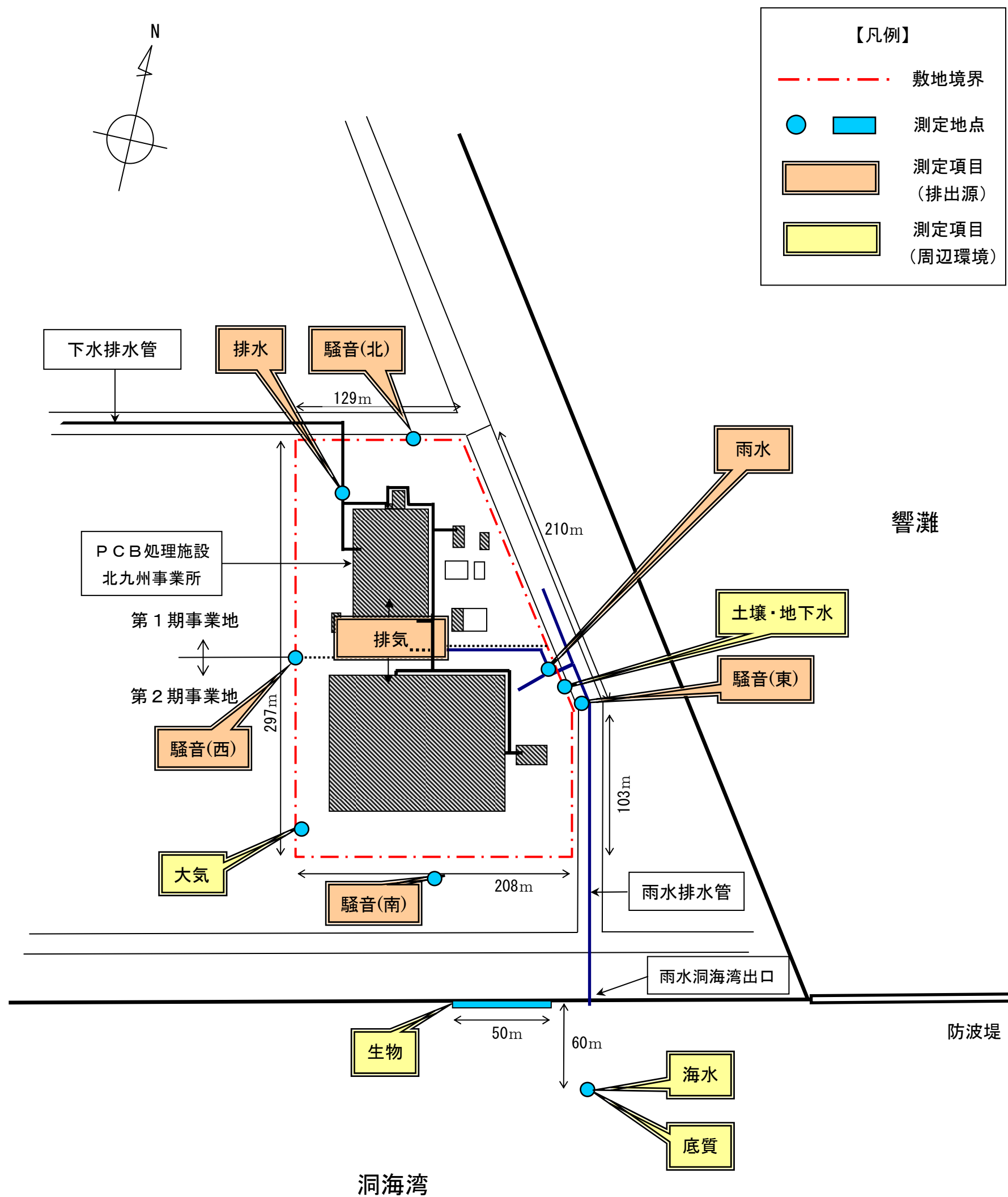
【事業地 位置図】



【付近見取図】



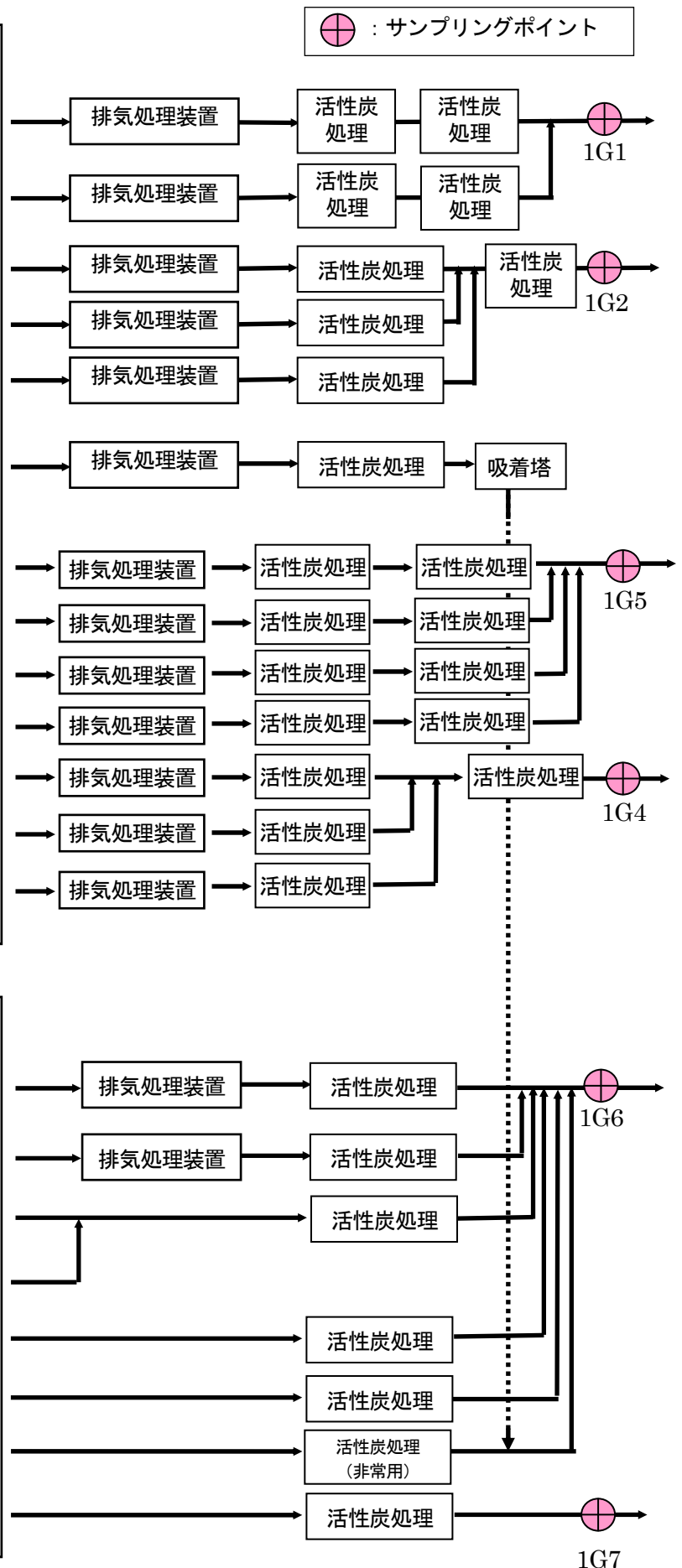
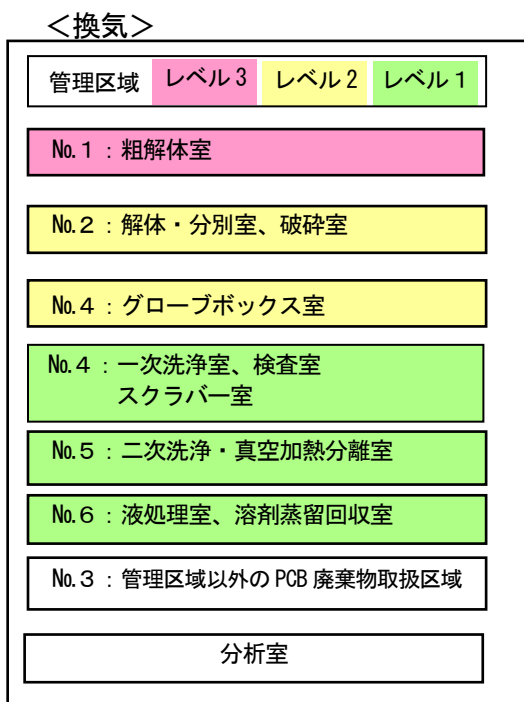
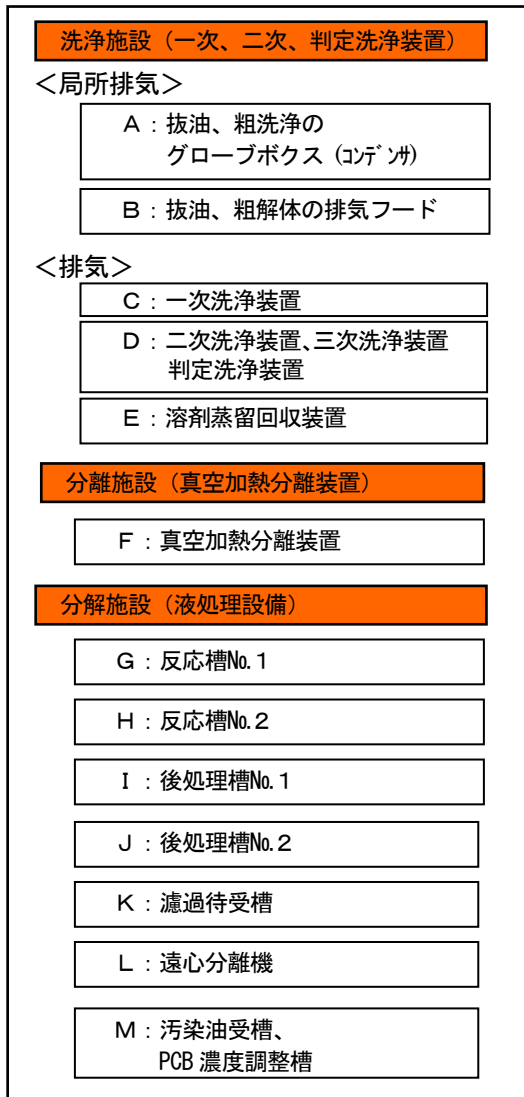
北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業 環境モニタリング調査地点図



悪臭 (Odor)

悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

サンプリング箇所（1期施設）

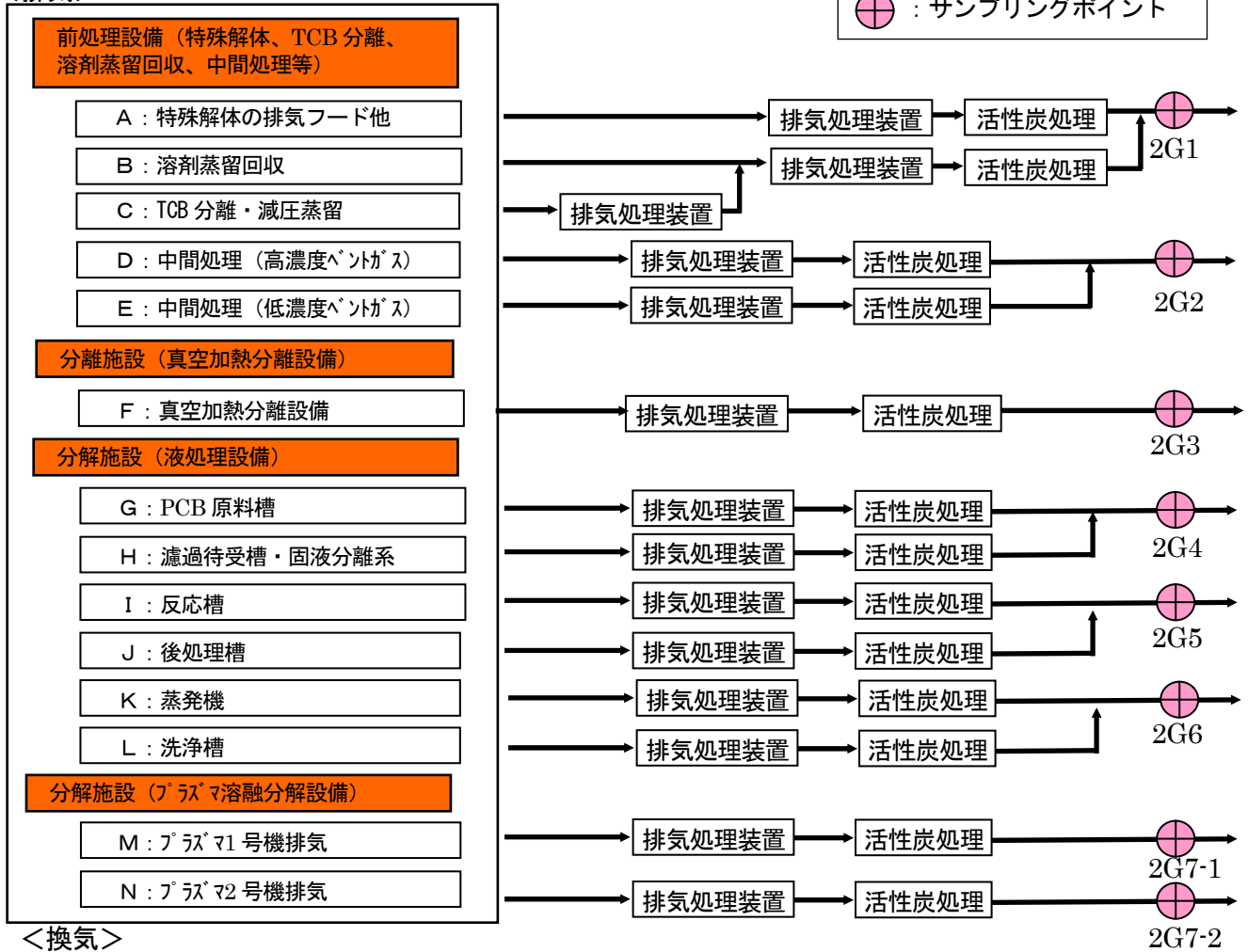


サンプリング箇所（2期施設）

添付3-2

<排気>

⊕ : サンプリングポイント



<換気>

